【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2006-257074(P2006-257074A)
【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-038
【出願番号】特願2006-34041(P2006-34041)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　47/42　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/22　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/21　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　47/42
Ａ６１Ｋ　37/26
Ａ６１Ｋ　37/24
Ａ６１Ｋ　37/66　　Ｈ
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１７

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月14日(2009.1.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
生理活性タンパク質を、活性を保持した状態で腸管内から血中に移行させる医薬組成物であって、成分として生理活性タンパク質およびカチオン性ペプチドを含有し、生理活性タンパク質とカチオン性ペプチドが共有結合で連結されていない医薬組成物。
【請求項２】
カチオン性ペプチドと生理活性タンパク質の混合比が、モル比（（カチオン性ペプチドのモル数）／（生理活性タンパク質のモル数））として３０００以下である請求項１記載の医薬組成物。
【請求項３】
カチオン性ペプチドが、アルギニンオリゴマーあるいはその誘導体である請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
カチオン性ペプチドが、Ｄ－アルギニンオリゴマーあるいはその誘導体である請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項５】
カチオン性ペプチドが、５－１５残基のＤ－アルギニンからなるオリゴマーである請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項６】
カチオン性ペプチド化合物が、プロタミンあるいはその部分ペプチドあるいはその誘導

体である請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項７】
生理活性タンパク質の等電点が７以下である請求項１～６のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項８】
生理活性タンパク質の分子量が、３００００以下である請求項１～７のいずれかに記載の医薬組成物。
【請求項９】
生理活性タンパク質が、インスリン、カルシトニン、副甲状腺ホルモン、成長ホルモン、インターフェロン類、インターロイキン類、およびＧ－ＣＳＦから選ばれる請求項１～８のいずれかに記載の医薬組成物。